

高校地理プリント（過去問類似）

人口・都市・生活文化 No.3

名前

得点

/10

問1 1950年代から2010年代にかけて、高度経済成長期などの急激な経済成長を経験したものの、国際的な人口移動の規模が総人口に対して相対的に小さかったため、社会増加率が一貫して0%付近の極めて低い水準で推移し続けた国はどこか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 台湾 2. 中国 3. 韓国 4. 日本

問2 インドでは、宗教的な理由から牛肉や豚肉の消費が忌避される傾向が強い。しかし、近年の急速な経済成長や都市化、食生活の多様化に伴い、宗教的なタブーが比較的少なく、安価なタンパク質源となる特定の肉類の消費量が急速に増加している。この、インドにおいて近年消費量が急増している、鶏などの鳥類を指す肉類の区分を答えよ。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. 豚の肉 2. 牛の肉 3. 羊の肉 4. 家禽の肉

問3 北アフリカなどの乾燥地域では、強い日差しや外気の熱が室内に侵入するのを防ぐため、窓などの開口部を小さくし、壁を厚くした伝統的住居がみられる。この住居において、熱伝導率が低く、現地の限られた自然環境から得られるため壁などの主材料として広く用いられている、粘土や泥を型に流し込んで天日で乾かした建築資材を何というか。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. 日干しレンガ 2. 焼きレンガ 3. 羊毛フェルト 4. トナカイの皮

問4 発展途上国や一部の先進国において、国内第1位の人口規模を持つ都市に人口や経済機能が極端に集中し、第2位都市の人口を大きく引き離しているような都市を何というか。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. 世界都市 2. 田園都市 3. 衛星都市 4. 首位都市

問5 この都市は、マンハッタン島を中心に格子状（直交路型）の街路パターンが採用され、超高層ビル群が林立する近代的な景観を持つ。その一方で、都市計画に基づいて中央部にセントラルパークと呼ばれる広大な人工の緑地が確保されている。この都市の名称を答えよ。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. ヒューストン 2. ロサンゼルス 3. ポートランド 4. ニューヨーク

問6 西アジアから北アフリカにかけての地域で広く信仰され、經典の規定に基づき特定の肉の摂取を厳しく禁じる一方で、羊やヤギ、鶏などの家禽の肉の消費を許容している宗教の名称を答えよ。 (2010年 全国公立入試 類似)

1. ジャイナ 2. ヒンドゥー 3. イスラーム 4. ゴロアスター

問7 アジア系移民の歴史的・社会的ネットワークは、母国への資金流入において重要な役割を果たしている。特に、南アジアの国にルーツを持ち、世界各地で商業やIT産業、あるいは建設労働などに従事しながら、母国の家族や親族へ多額の送金を行っている在外住民やその子孫を指す、地理の教科書に登場する用語は何か。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 華工 2. 華人 3. 印僑 4. 華僑

問8 1980年代初頭から、自国の近代化や工業化を達成するために、日本の集団主義や労働倫理、技術を学ぶ「ルックイースト（東方）政策」を提唱し、日本へ多くの留学生や研修生を派遣した東南アジアの国はどこか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. カンボジア 2. マレーシア 3. ミャンマー 4. フィリピン

問9 近世のヨーロッパにおいて、火砲の発達という軍事技術の変化に対応し、死角をなくして防衛力を高めるために、星型の濠や強固な障壁で周囲を囲んだ都市の形態を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 植民都市 2. 宗教都市 3. 城郭都市 4. 自治都市

問10 1990年代のバブル崩壊以降、地価の下落や都心部での再開発、超高層マンションの建設などを背景に、利便性を重視する世帯が郊外から大都市の中心部へと再び流入するようになった。2000年代以降に顕著となったこの人口動態の傾向を何というか。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. 職住近接 2. 職住分離 3. 都心回帰 4. 衛星都市